

令和6年度 事業報告書



～若い世代のボランティア活動活性化事業～
ボランティアマルシェにて多くの学生ボランティアに協力いただいた時のようす
(令和6年7月6日実施)

目次

【総括】	・・・	1
【事業報告】		
(1)福祉の風土づくり	・・・	3
(2)住民主体の活動づくり	・・・	11
(3)新たな絆をつむぐまちづくり	・・・	26
(4)地域で安心して暮らしつづけることができる体制づくり	・・・	29

社会福祉法人草津市社会福祉協議会

1. 総 括

令和6年度は、地域の事業や活動に大きな影響を与えたコロナ禍を経験し、徐々にではありますが以前のように社会経済活動が回復してきましたが、燃料費高騰や物価高騰などの新たな現象が起り、予断を許さない状況であります。

また、孤独孤立や引きこもりなど、これまで表面化してこなかった課題がクローズアップされ、社会問題化しており、誰一人とり残さない社会福祉の取組の必要性が問われております。

このような中、草津市社会福祉協議会では、令和6年度に第4次地域福祉活動計画（令和4年度から8年度までの5年計画）の3年目を迎え、計画全体の間中評価を行い、いくつかの課題を指摘いただきましたが、最終的な計画の達成に向け、着実に各種事業を進めることが求められています。

こうした中、草津市社会福祉協議会は、一人ひとりの顔が見える地域福祉活動を進めてきましたが、徐々にではありますが、主体的に踏み出そうとしている住民の姿があり、また、先の社会問題に対しても積極的に取り組もうとする動きもあり、地域で支えあうための特徴ある福祉活動が広がっております。

このことを踏まえ、地域福祉活動計画に定める「住民主体の福祉のまちづくり」を進めるため、「福祉の風土づくり」、「住民主体の活動づくり」、「新たな絆をつむぐまちづくり」を、「市社協が取り組む福祉の基盤づくり」を進めるため、「住み慣れた地域で安心して暮らしてつづけることができる体制づくり」の4つの基本目標のもと、10の重点項目を定め、事業の効果的な取り組みを進めてまいりました。

重点項目への取組

地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発

- ・広報紙「社協くさつ」を年4回発行するとともに、希望される方には点字版も発行し、ホームページによる情報発信に努め、職員による「出前講座」を行うことで、地域福祉の周知啓発に努めました。

地域福祉活動の担い手づくり

- ・福祉教養大学を開講し、人材の育成に努め、学区社協への活動助成を行うとともに、福祉委員の設置促進を手引や学習会を通して行うことで、地域の福祉活動の担い手づくりを進めました。

地域で支えあう仕組みづくり

- ・生活支援体制整備事業では地域支え合い推進員の配置と協議体を設置することで、地域で支えあう仕組みを推進するとともに、地域支えあい運送支援などの社会資源の発掘に努めるとともに、新たに子どもの居場所支援事業を開始し、フードバンクセンターや福祉機器リサイクル等を活性化し、地域福祉の活動を進める関係団体への支援を行うことで、地域で支えあう仕組みづくりを行いました。

若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

- ・ペットボトルキャップやプルトップ、使用済み切手の収集など、収集ボランティアを広げるとともに、ボランティアマルシェ等へ新たに若い世代のボランティアの参加を促すことで、若い世代のボランティア活動への興味を持っていただき、活動のきっかけづくりにつなげました。

新たなボランティア発掘の仕組みづくり

- ・福祉教養大学院の卒業生が立ち上げたボランティアグループに助成を行い、グループ活動拡大を行うとともに、ボランティアマルシェ等を開催し、ボランティアグループ・地域サロン活動リストを作成することで、新たなボランティア発掘の仕組みづくりを行いました。

分野を超えたつながりづくり

- ・善意銀行の啓発により寄付金や寄付物品を募り、生活つなぎ資金貸付事業等を実施し、引き続き社会福祉法人との連携事業の検討も行い、市民の福祉活動への寄付意識の醸成に加え、分野を超えたつながりづくりを行いました。

学区社協をはじめとした地域福祉活動支援

- ・学区社協会長会の開催を通して、地域の連携を図り、学区社協便覧の作成等を行い、地域福祉活動の推進の拠点となる学区社協を支援することに加え、地域福祉活動計画の進捗管理や新たに中間評価を行うことで、学区社協をはじめとした地域福祉活動支援を行いました。

ボランティアセンターの機能強化

- ・ボランティアグループや個人ボランティアとの協力のもと、ボランティアニーズの調整やマッチング、ボランティアのPRなど、ボランティアセンターがボランティア活動の拠点となるよう、ボランティアセンターの機能強化を行いました。

包括的な相談体制の構築

- ・生活つなぎ資金や生活福祉資金の貸付を行うとともに、相談員や弁護士の協力のもと、心配ごと相談所の運営を行い、年末には歳末たすけあい見舞金を配布したり、食糧支援などを行うことで、包括的な相談体制の構築を行いました。

地域福祉活動推進に要する財源確保

- ・社協の広報紙である「社協くさつ」やホームページの有料広告を行い、社協のマスコットである「ふくちゃん」の啓発を行うとともに、赤い羽根共同募金運動や赤十字事業の推進を図ることで、地域福祉活動推進に要する財源確保を行いました。

2. 事業報告

I. 住民主体の福祉のまちづくり ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、
地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

(1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 **重点**

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

● 広報紙「社協くさつ」発行事業

1,829,518 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、回覧や全戸配布により、市社協事業や住民の福祉活動に関する情報発信を行いました。

- 令和6年 7月1日号 (No. 181) 【発行部数 4,350部 (回覧)】
- 令和6年 9月1日号 (No. 182) 【発行部数 58,700部】
- 令和6年 11月1日号 (No. 183) 【発行部数 58,800部】
- 令和7年 3月1日号 (No. 184) 【発行部数 59,000部】

【主な掲載記事】

市社協の運営に関すること	・令和5年度決算および令和6年度の主な事業 ・賛助会員、会費について
地域・団体の活動に関すること	・くさつをさいこうにするつながり通信 (ピカッと草津、ゆかい家、学区社協ポスター) ・障害児者介護者リフレッシュ事業 ・学区敬老会
ボランティアに関すること	・ボランティアグループ・地域サロン活動リスト、出前ボランティア一覧発行 ・送迎ボランティア募集 ・草津市ボランティア連絡協議会 ・ボランティアマルシェ ・収集ボランティア ・福祉教育備品貸出 ・ボランティア登録、保険加入案内
地域サロンに関すること	・まごころ便
災害ボランティアセンターに関すること	・災害ボランティアセンター運営協力者募集 ・災害ボランティアセンター運営訓練・研修会実施
赤い羽根共同募金に関すること	・赤い羽根共同募金 ・歳末たすけあい見舞金
日本赤十字社に関すること	・災害義援金・救援金の受付 ・赤十字活動のご紹介

講座・研修に関すること	・草津市福祉教養大学・ひきこもり支援を考えるフォーラム
その他市社協事業に関すること	草津市社会福祉協議会功労者表彰、フードドライブ事業、草津市社会福祉協議会チューリップ事業、電話訪問、特例貸付の返済相談、子どもの居場所サポート事業、寄付受付、社会を明るくする運動、心配事相談、車いす貸出、オムツお渡し、地域福祉権利擁護事業他

「社協くさつ」点字版作成・配付事業

視覚障害があり、「社協くさつ」の点字版または墨字版の配付を希望される方に配布しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」に委託しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	4人	点字版16部
障害者福祉センター	1カ所	点字版4部 墨字版4部
草津市社会福祉協議会	1カ所	墨字版4部

●ホームページ運営事業

275,000円

市社協事業や地域での取組の情報発信や、ボランティアや寄付の募集を効果的に行うことができるよう、制作業者のノウハウを活用しながら内容の見直しを随時行い、使いやすさや見やすさの向上に努めました。

○ホームページアクセス総数 …69,593件/年

●近所力アップ講座（出前講座）

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

学区	開催日	内容	参加者
老上 (老上SOS委員会)	令和6年 5月25日(土)	災害ボランティアセンター能登半島地震について	18人
玉川 (地域サロンほっとローレル)	6月24日(月)	・草津市社協事業紹介 ・草津市の素敵な物語朗読	15人
矢倉 (老人会)	7月24日(水)	草津市社協について	35人
山田 (老人会)	8月13日(火)	「ピカッと草津」について	15人
笠縫 (笠縫学区民生委員児童委員協議会)	12月14日(土)	ボランティアと草津市社協の取組について	20人

●「広報くさつ」点字版作成・配付事業

415,000円

視覚障害があり、「広報くさつ」の点字版または墨字版の配付を希望される方に配布しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」に委託しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	3人	点字版36部

障害者福祉センター	1カ所	点字版12部 墨字版12部
草津市広報課	1カ所	墨字版12部

<関連する事業>

- ・福祉教育の推進
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(2) 若い世代に福祉風土を広げる

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

●社会福祉功労者表彰式典

146,150円

長年にわたり地域福祉の推進に尽力された個人・団体を表彰するとともに、社会福祉の向上のためご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。

また「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力された個人・団体を表彰するとともに、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。

○式典開催日：令和6年11月9日（土）

○開催場所：草津市役所 8階大会議室

【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰	民生委員・児童委員として8年以上地域福祉活動の推進に寄与された方々	1人
	長年にわたり社会福祉協議会、社会福祉施設および民間社会福祉事業関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に尽力された方々	9人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与した者	4人
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄与した団体	21団体
	福祉活動推進校として授業および活動等に尽力された学校	2校
感謝	社会福祉の向上のため寄付をいただいた方々	4人
	社会福祉の向上のため寄付をいただいた団体	10団体
	社会福祉活動に積極的に協力され、その功績顕著な団体	1団体

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された方々	1人
		1団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄付をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された方々	1人
		2団体

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

7,562円

ボランティアや地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や学校等の福祉教育を支援しました。また、小中学校の子ども達への福祉教育の推進を目的として「福祉教育のてびき」を作成し、福祉教育の教材資料として子どもや教師に配布しました。

	実施内容内訳						
	実施回数	手話体験	点字体験	盲導犬の理解	視覚障害者の理解	高齢者疑似体験等	車いす体験
幼・保	1	1	0	0	0	0	0
小学校	19	9	3	3	1	3	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0
高校	4	1	3	0	0	0	0
その他	5	2	1	0	0	2	0
計	29	13	7	3	1	5	0

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発
- ・ボランティア活動支援事業

(3) 住民どうしが互いに見守り・気にかけてあう関係を広げる

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気にかけてあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めています。

●チューリップ事業（つながりサポート事業）

3,562,258円

コロナ禍において、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の配付を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、地域の支援者につなげました。また、連携会議や研修会を実施し、地域の生理用品提供先の追加や居場所づくり、草津市役所・キラリエ草津のトイレに新たに40か所のぼり旗を設置し、当事業について周知・啓発の強化を図るなど、施策連携・公民連携・地域連携の3連携による支援体制の強化を図りました。

【生理用品提供窓口一覧（21カ所）】 ◎…食糧品も提供

キラリエ内	男女共同参画センター、人権センター、◎草津市社協
市役所内	◎人とくらしのサポートセンター 子ども家庭・若者課、家庭児童相談室、健康増進課、生活安心課
その他施設等	ハローワーク草津、草津市立障害者福祉センター、 発達支援センター、草津市立図書館、幼児課、フードバンク滋賀
地域窓口拠点	◎ゆかい家、ふれあいハウス絆、志津まちづくりセンター、新田会館 玉川まちづくりセンター、南笠東まちづくりセンター、西一会館

○年間の提供数

- ・ 701セット（1セット＝昼用20個入り×1袋と夜用9個入り×1袋）
- ・ 個包装・・・1,828個（キラリエおよび図書館の各トイレに設置）
- ・ 小中学校・・・11,591個（20校）

○関係機関会議・・・2回開催（20機関が参加）

○研修会・・・テーマ：「IYU淡海 女性の居場所づくりを通して
～気軽にコミュニケーション あなたも聞き上手に～」
（参加者47名）

○居場所づくり

<草津学区社協活動拠点ゆかい家にて>

- ・ レディースカフェ・・・週2回（年間約49回）開催
- ・ スマホ教室イベント開催・・・計2回開催（参加者24名）
- ・ 「明るい不登校の会」への会場提供協力
・・・計11回開催

<志津南学区社協にて>

- ・ 自彊術イベント…1回開催（参加者25名）

○年間の寄付受付数

237袋（うち企業・関係機関：165袋、個人：72袋）

○地域の生理用品提供窓口の追加

地域の提供窓口として、西一会館が新たに生理用品の提供・寄付受付を開始しました。

○つながりサポート事業の周知・啓発強化

生理用品の提供を希望する人が周囲を気にせず意思表示ができるよう窓口等に卓上のぼり旗を設置していますが、当事業の更なる周知・啓発強化のために、草津市役所・さわやか保健センター・キラリエ草津の女子トイレとバリアフリートイレに新たに40か所卓上のぼり旗を設置しました。視覚障害者が見やすいデザインを意識し、のぼり旗用台座にQRコードを貼り、コードを読み取ると生理用品の提供先窓口が表示される等適切な情報が利用者に届けられるよう工夫しました。

●ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業 100,000 円

「第6回ひきこもり支援を考えるフォーラム」

社会参加や対人交流に不安を抱え、自宅でひきこもり状態にある方への適切な支援について理解を深める場として、フォーラムを開催しました。開催にあたっては、湖南地域各市社協と滋賀県社協で湖南地域ひきこもり支援フォーラム実行委員会を設置し、支援技術の向上につなげることができるよう、市民や関係機関に広く周知して実施しました。民生委員・児童委員などの支援者をはじめ当事者家族など125名の参加があり、多くの方にひきこもりについて知っていただく機会となった。

開催日	内容・講師	参加者
令和7年 2月1日(土)	ひきこもりの対話的支援 ～生きづらさを知る～ 講師：つくばダイアログハウス 院長 斎藤 環さん	125名

●社会を明るくする運動 106,447 円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で各関係機関・各団体が運動に関する啓発と作文コンテストを実施しました。

○街頭啓発

草津駅、南草津駅にてのぼり旗を掲出し、啓発に取り組みました。

また、7月1日には草津駅・南草津駅前で協力団体とともに、啓発品を配布しながら、市民等に対して運動の意義を啓発しました。

協力団体	草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市、草津市教育委員会、草津市学区・区社会福祉協議会会長会
------	---

○作文コンテスト

応募校：3校（南笠東小学校、笠縫東小学校、笠縫小学校）

応募作品数：3点（各校から1点）

●地域サロン活動支援 10,994,452 円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりの構築を目的として、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- 新たに設置された地域サロン 8団体
- 解散した地域サロン 2団体
- 地域サロン訪問 4件
- 地域サロンとボランティアの需給調整 29件

【年度別サロン数】

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
154サロン	146サロン	157サロン	157サロン

【地域サロン参加者・活動者状況】

	令和6年度	令和5年度
年間参加者延べ人数	86,511人	62,155人
年間運営ボランティア数	22,274人	19,468人

【学区別地域サロン開催状況】

区分	地域サロン総数				年間対象者参加者数(人)		スタッフ数(人)		町内会数	設置割合
		内タイプ数		タイプ別 対象者参加者数	対象者参加合計	タイプ別 スタッフ数	スタッフ合計			
			内新規							
志津	A	14	1	8,837	9,104	2,350	2,391	12	133.3%	
	B	2	0	267		41				
志津南	A	8	1	7,640	7,724	1,755	1,802	14	64.3%	
	B	1	0	84		47				
草津	A	13	0	10,593	10,593	2,890	2,890	28	46.4%	
	B	0	0	0		0				
大路	A	11	2	7,393	7,571	1,584	1,632	26	50.0%	
	B	2	0	178		48				
渋川	A	9	0	3,223	3,368	886	910	17	64.7%	
	B	2	1	145		24				
矢倉	A	9	1	7,647	7,740	2,081	2,105	13	76.9%	
	B	1	0	93		24				
老上	A	7	1	5,251	5,558	1,254	1,303	9	100.0%	
	B	2	0	307		49				
老上西	A	5	0	3,273	3,273	474	474	19	26.3%	
	B	0	0	0		0				
玉川	A	9	0	5,168	5,168	1,698	1,698	4	225.0%	
	B	0	0	0		0				
南笠東	A	3	0	1,145	1,413	185	277	6	66.7%	
	B	1	0	268		92				
山田	A	14	0	7,399	7,640	2,163	2,184	14	114.3%	
	B	2	0	241		21				
笠縫	A	14	1	10,559	10,744	2,537	2,581	26	61.5%	
	B	2	0	185		44				
笠縫東	A	6	0	2,013	2,687	649	953	16	56.3%	
	B	3	0	674		304				
常盤	A	10	0	3,383	3,928	931	1,074	16	87.5%	
	B	4	0	545		143				
合計	A	132	7	83,524	86,511	21,437	22,274	220	70.0%	
	B	22	1	2,987		837				

※Aタイプ・・・年間開催回数が20回以上

Bタイプ・・・年間開催回数が10～19回

●地域サロンの運営支援（交流会の実施）

80,784 円

地域サロンの運営者が交流する場として地域サロン交流会を開催し、地域サロン活動の参考となる健康に関する講話やアイテム制作を体験できる機会の提供とともに、運営者同士のつながりづくりや地域サロン運営に関する課題や困りごとについて意見交換できる機会を提供しました。

【交流会】

開催日	内容・講師	参加者
令和7年 3月5日（水）	①フレイル予防と健康体操 講師：社会医療法人誠光会 介護事業局 理学療法士 濱田康夫さん ②紙バンド工作体験 講師：P a p i e s KAMACHAN 鎌田てる子さん	81名 (50 サロン)

●炊き込みご飯「まごころ便」の実施

68,592 円

地域サロンの活動者の前向きな気持ちを応援し、参加される高齢者に笑顔になっていたけるよう、草津市赤十字奉仕団と草津市社会福祉協議会がコラボして「炊き込みご飯」を作りました。

コロナ禍から続いているこの活動も5年目を迎え、令和6年度での活動が最後となりました。令和6年度は合計605個の炊き込みご飯を地域サロンにお配りしました。

実施日	応援サロン数	個数
10月30日（水）	18サロン	301個
11月28日（木）	14サロン	304個
合計	32サロン	605個

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・福祉委員設置促進
- ・ボランティア活動支援事業

基本目標 2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

(1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくりまします。

(1-1) 地域福祉活動の担い手づくり **重点**

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めます。

●第7回草津市福祉教養大学

553,741円

地域の担い手不足と言われている現状を打破し、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に「福祉教養大学」を実施しました。今年度は「生きる源・つながる心」をテーマに、幅広い分野の講師に講演いただき、今まで福祉に興味がなかった方にも多くご参加いただきました。また、5講座全てを受講された方々には、卒業証書を授与し、今後の活動の励みにしていただきました。

【第7回草津市福祉教養大学 基礎課程】

延べ参加者：244人

	開催日	内容・講師	参加者
入学式 第1講座	令和6年 8月16日(金)	「写真が語る、いのちのバトンリレー」 ～地域をつくり 世をつくる～ ・講師：写真家・ジャーナリスト 國森康弘さん	28人
第2講座	9月26日(木)	一部「地域で暮らし続けるために大切なこと ～知っているようで知らない身近な「くすり」との付き合い方を中心に～ ・講師：一般社団法人びわこ薬剤師会「みのり薬局」 村杉 紀明さん 二部「健幸に生き抜く力」 ・講師：浜本内科医院院長 浜本徹さん	33人
第3講座	10月15日(火)	「災害を通じた日常的なつながりの大切さ」 ・講師：元神戸新聞社写真記者 金居 光由さん	52人
第4講座	11月29日(金)	「福祉のことはよくわからないはやめませんか！どうすればいいのでしょうか？」 ・講師：龍谷大学社会学部現代福祉学科 特任教授 山口 浩次さん	43人

第5講座	令和7年 2月6日(木)	「草津市の魅力を発見 ～くらし、ささえる、地域のつながり～」 *(公財)草津市コミュニティ事業団「ひと とまちの未来をつくるカレッジ2024」と の合同開催 【コーディネーター】 龍谷大学 社会学部現代福祉学科 特任講師 村田 智美さん 【パネリスト】 <学生ボランティア> 龍谷大学社会学部現代福祉学科 内山 楓子さん 林 蒼さん <渋川学区> 渋川なんでもやる会	88人
卒業式・ 卒業生 実践 発表会	3月19日(水)	卒業式 ・大学、大学院卒業証書授与、卒業生あい さつ 卒業生実践発表会 ・ボランティアグループふくちゃん ・VG. フリーダム	14人

※第7回草津市福祉教養大学卒業生 12人

【草津市福祉教養大学大学院卒業生アンケート】

草津市福祉教養大学・大学院の卒業生の活動を把握するため、アンケートを実施いたしました。112名の内84名の回答がありました。アンケート結果から約85%の方が教養大学卒業後、活動を実施している・継続しているということが分かりました。

また、草津市福祉教養大学を受講してよかったと思うことは、福祉の現状、地域づくり、生き方・生きがいが多い結果となりました。

●地域福祉活動助成

3,640,000円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の地域福祉活動を展開する補助金を学区社協へ交付しました。

また、個人・企業から集まった賛助会費について、地域の特徴を生かした学区社協活動へ助成を行いました。

●地域福祉活動推進事業助成金

160,636 円

地域住民や各種団体、福祉関係者等が連携しながら、複雑で多様な暮らしの問題への支援体制の充実や助け合い活動の強化を進めるため、生活支援活動の強化と健幸的な暮らしの強化といった2つの目的をもった助成金事業を実施しました。

＜地域の困りごとを解決する生活支援活性化助成金（上限40,000円/学区）＞

No.	学区	事業内容
1	志津南	福祉活動マップの作成
2	笠縫東	ピカッと草津 地域ささえ愛応援 駐車場運用のための備品
3	草津	・宮町見守り隊のボランティア立ち上げ ・社会に踏み出す一歩に!!の活動支援

＜健幸的に活躍できるための活動備品等助成金(上限20,000円/学区)＞

No.	学区	事業内容
1	志津南	・ふれあいハウス絆に設置する脳トレグッズの購入 ・まちづくりセンターに設置する健康器具の購入
2	矢倉	町内会行事やふれあい喫茶憩等で使用する健康器具の購入
3	笠縫	やすらぎ学級（高齢者の居場所づくりと学びの場）で使用する脳トレグッズ・ニュースポーツグッズの購入
4	草津	笑顔で健幸カフェ（健康バンド体操と健康相談のコラボ）で使用する備品購入

●福祉委員設置促進

101,135 円

「福祉委員の手引き」をもとに学区社協との協働により学習会を開催し、福祉委員活動が効果的に行われるよう支援しました。福祉委員活動をより円滑に進められるよう、希望される学区に市社協会長と学区社協会長の連名で委嘱状を交付しました。

また、市内14学区の福祉委員をはじめ14学区社協活動者、民生委員・児童委員等を対象にした研修会を実施しました。参加者には、日頃からの地域福祉活動の重要性や、人と人、人と地域がつながっておくことの大切さ、さまざまな関係機関・団体が連携、協力をして取り組むことの必要性を学んでいただき、地域福祉活動とは何かや、暮らしの問題に着目した地域でのボランティア活動の大切さ等を実感していただくことで、地域福祉活動への意識をさらに高めていただくことができました。

【研修支援】

合計参加者：145人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	山田	令和6年 5月29日（水）	福祉委員の役割について	山田学区社協	15人
2	草津	6月3日（月）	福祉委員の役割について	草津学区社協	29人
3	老上	6月17日（月）	福祉委員の役割について	老上学区社協	25人
4	笠縫	6月27日（木）	身近な地域福祉活動について	笠縫学区社協	76人

※市内合計12学区426人のうち、委嘱状交付学区は3学区・合計116人
（内訳）草津学区 27人 ・老上学区 32人 ・笠縫学区 57人

【地域の福祉の担い手研修会】

開催日	内容・講師	参加者
令和7年 2月10日（月）	「小地域福祉活動はあいうえお ～安全・安心な地域づくりに向けて～」 ・講師：京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 生活環境学科 教授 酒井久美子さん	44人

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援助成金

（1-2） 地域で支えあう仕組みづくり **重点**

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

●生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）

22,038,000円

○医療福祉を考える会議の支援

学区ごとに地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を配置して、各学区における課題や取組を地域と関係者がともに検討する「医療福祉を考える会議」の運営を支援しました。また、同会議に関する周知・啓発を行うため、広報紙「社協くさつ」や市社協ホームページを活用して会議の様子について情報発信しました。

学区・区	開始年度	令和6年度			延べ本番会議開催数
		主なテーマ	本番会議開催数 (会議開催にあたる 打合せ等の支援回数)		
志津	H27	「志津学区版 認知症の人にやさしいお店や事業所」が学区内に広がるよう、認知症についての正しい理解を深める	3回	(53回)	31回
志津南	R2	福祉マップを作成し志津南学区の暮らしの問題と、今ある社会資源（活動、福祉サービス）を知り、共有する	0回	(55回)	5回
草津	H30	草津学区の現状を知り、草津学区の“あったらいいな”を共に考える	1回	(22回)	6回
大路	未実施	支えあいの機運を高める	—	(1回)	—
渋川	H27	地域資源が見える化するため、資源マップ作成する	4回	(45回)	19回
矢倉	H27	ピカッと草津*	2回	(66回)	14回

老上	H 2 4	ピカッと草津*	2回	(87回)	23回
老上西	H 2 4	老上西学区 有償ボランティア制度の立ち上げに向けて	2回	(12回)	25回
玉川	H 2 9	認知症行方不明者を防ぐためにできることを考える	2回	(44回)	16回
南笠東	H 2 8	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める	1回	(21回)	10回
山田	H 2 5	ピカッと草津*	2回	(67回)	26回
笠縫	H 2 8	気軽に立ち寄れる居場所づくり	6回	(65回)	45回
笠縫東	H 2 4	ピカッと草津*	1回	(47回)	21回
常盤	H 2 7	学区で最期まで自分らしく生きるには	2回	(59回)	15回
合計			28回	(644回)	256回

※「ピカッと草津」…訪宅サービス事業所の駐車場所を地域内で提供しあう取組を通じて、地域の福祉意識の向上を図る取組を進めています。

○「ピカッと草津」の取組に関する内容説明、視察受け入れ

老上学区・山田学区・笠縫東学区の3学区をモデルとして進めている「ピカッと草津」の取組について、関係機関会議等にて内容説明を行ったり、他府県社協からの視察研修の受け入れを行い、広く周知・啓発に努めました。

No.	開催日	会議名・相手先	内容
1	令和6年 5月21日(火)	草津市障害児(者)自立支援会議	「ピカッと草津」について
2	10月9日(水)	岐阜市社会福祉協議会	〃
3	12月21日(土)	近畿地域福祉学会	〃
4	令和7年 1月30日(木)	草津あんしんいきいきプラン委員会	〃

○地域包括支援センター、市等との連携

地域支援の中心を担う各圏域地域包括支援センター・市・市社協が連携し、医療福祉を考える会議が効率的・効果的に進められるよう丁寧に事前調整を行いました。

また、地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議に随時参加し、生活支援コーディネーターとしての視点を用いながら多職種連携を深めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズの把握に努めました。

○市と市社協の連携強化

人とくらしのサポートセンターと随時調整会議を実施し、生活支援体制整備事業の展開について協議しました。

●地域支え合い運送支援

430,095 円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送支援事業の運営を支援するとともに、活動の普及を図るため、活動者および活動に関心のある市民を対象として安全運転講習を開催し、事業内容の説明や安全運転に関する啓発を行いました。また、法令に基づきアルコール検知器によるアルコールチェックの実施について周知を徹底し、安全に事業運営していただけるよう努めました。

【安全運転講習】

開催日	内容	参加者
令和6年 11月28日(木)	① 運転ボランティアのために安全運転講習会 講師：JAF 滋賀支部 廣瀬 隆一さん ② ヒヤリハット体験談 ③ ボランティア同士の交流会	24人

【事業実施状況】

	志津南		山田		老上・老上西		南笠東	
事業主体	志津南学区 まちづくり 協議会		山田学区 社会福祉協議会		老上学区・ 老上西学区 社会福祉協議会		南笠東学区 社会福祉協議会	
実施主体	志津南学区 社会福祉 協議会				老上送迎サポート		南笠東学区 まちづくり 協議会	
貸与車両	ダイハツ タント		トヨタ ヴィッツ		ダイハツ タント		ダイハツ タント	
実施年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 5年度
利用 登録者数	38人	32人	23人	28人	55人	55人	150人	158人
延べ 送迎人数	112人	107人	305人	281人	147人	120人	366人	241人
送迎 ボラ人数	7人	7人	11人	11人	8人	8人	5人	5人
送迎日数	102日	85日	124日	133日	147日	120日	175日	197日
走行距離	1,539 km	1,291 km	1,735 km	1,611 km	1,306 km	995 km	4,627 km	5,804 km
送迎先	近隣病院 地域の会館		まちづくりセンター 病院		近隣商業施設 近隣病院		近隣病院 公共施設 近隣商業施設	

●草津フードバンクセンター

184,452 円

生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、市社協（草津フードバンクセンター）にご寄付いただいた食糧を無償で提供し、地域福祉活動の推進に努めました。また、企業や個人にとっては、フードバンク事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという善意の循環システムの構築を図りました。

事業実施にあたっては、関係機関の協力のもと、市民に身近な施設においてフードドライブを実施することができ、また、事業に賛同する企業のご厚意もあって、周知啓発や食糧の受け入れにつながりました。

【提供した施設等】

目的・施設の別	団体数
子どもたちなどを対象にしている団体・施設への支援	20 団体
学区社会福祉協議会への支援	12 団体
高齢者施設	18 団体
障害者施設	13 団体
地域で福祉活動をされている団体	5 団体
その他団体	3 団体
その他、生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援	

【移動フードドライブ】

場 所	時 期
カフェほっこり	常設
新田会館	常設
山田まちづくりセンター	夏のフードドライブ期間 6/5～6/19 冬のフードドライブ期間 11/1～11/18
オムロン株式会社草津事業所	冬のフードドライブ期間 11/1～11/29
ゆかい家	秋のフードドライブ期間 10/15～10/19
市役所2階 (健康福祉政策課内)	秋のフードドライブ期間 9/18～9/26 冬のフードドライブ期間 11/20～11/28
南笠東まちづくりセンター	秋のフードドライブ期間 10/11～10/31
草津市立ロクハ公園 (志津ふれあい広場)	冬のフードドライブ期間 11/10
老上小学校 (ふれあい老上まつり)	秋のフードドライブ期間 10/27
ふれあいハウス 絆	秋・冬のフードドライブ期間 10/28～11/10
キラリエ草津 (エコライフフェア)	秋のフードドライブ期間 10/20

【寄付食品、寄付者一覧】

期間	R5年度 繰越	第1回 春	第2回 夏	第3回 秋	第4回 冬	第5回 冬以降	R5度繰越、 第1～5回 合計	
		4/1～ 4/30	5/1～7/31	8/1～ 10/31	11/1～ 12/31	1/1～3/31		
寄付食品	米	166.5 kg	48 kg	200.64 kg	372.3 kg	566.41 kg	330.16 kg	1,684.01 kg
	米以外	58 品	86 品	320 品	1,363 品	3,323 品	1,430 品	6,580 品

寄付者 (移動フードドライブ含む)	団体	個人	合計 (延べ)
		37 件	161 件

【米以外の寄付食品の内訳】

	米以外（品）												米以外
	乾 麵	乾 物	粉 類	缶 詰	レ ト ルト	食 用 油	ル ー	調 味 料	菓 子	飲 料	ビ ン 類	そ の 他	合 計 （ 品）
米以 外の 食品	376	190	37	371	321	39	51	540	1,965	356	53	2,281	6,580

●子どもの居場所サポート事業

223,125 円

草津市が推進する市内の子どもの現状把握や居場所づくりの取組と連携し、子どもの居場所（子ども食堂等）が安定的に確保されるよう、実施回数に応じた助成金を交付しました。

助成対象団体	食堂名	助成金の額
多文化共生支援センター	多文化子ども食堂	50,000 円
特定非営利活動法人 宅老所心	楽しい放課後 心	37,500 円
特定非営利活動法人 NPO子どもネットワークセンタ ー天気村	おいで子ども食堂	25,000 円
なかよし広場+にこにこレストラ ン運営委員会	なかよし広場+にこにこレストラン	12,500 円
JAGUARの部屋	おいかみ食堂	25,000 円
まちのコミュニティハブ ツナグ	ツナグ食堂	12,500 円
のびのびこども食堂	のびのびこども食堂	25,000 円
しが健康医療生活協同組合	かさひがしっこ 子ども食堂	25,000 円

●関係団体への支援

293,600円

関係団体が実施する事業に対し助成を行い、活動を支援しました。

助成対象団体	目的	助成金の額
草津市老人クラブ連合会	高齢者を対象とする健康増進事業に対する助成により活動を支援	72,000円
草津手をつなぐ育成会	共同作業所で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動への支援	40,000円
肢体不自由児者父母の会	肢体不自由児者や知的障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換への支援	38,000円
草津市視覚障害者協会	中途視覚障害者を対象とする交流会事業等への支援	7,600円
心身障害児者連絡協議会	スポーツを通じて健康の維持・増進と親睦、地域社会との交流を深めることへの支援	38,000円
ボランティア連絡協議会	ボランティアグループの横のつながりをめざし、輪を広げ、福祉のまちづくりへの支援	48,000円
保護司会	保護司会の講演会開催への支援	50,000円

●福祉機器リサイクル（貸出事業）

146,000円

ケガや一定期間の外出などの事情により一時的に車いすが必要になった方に、車いすの貸出を行いました。貸出用車いすの一部はリサイクル品を活用し、資源の循環に資する取組として実施しました。

貸出備品	令和6年度	令和5年度	令和4年度
車いす	182回	155回	154回

市民の皆さまの善意により、ご寄付でいただいたリハビリパンツ・尿取りパッド・紙おむつを必要な方へお渡しました。

寄付数	配布数
794個	626個

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・福祉車両貸出

(1-3) 住民福祉活動計画の推進

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを配置し、学区社協活動に参加・協力、支援をしてきました。医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気付きが生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	令和6年度 支援回数	主な支援内容
志津	71回	・医療福祉を考える会議への支援 ・「ぷらっと茶屋」「くすのきレストラン」への支援
志津南	77回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいハウス絆への支援
草津	51回	・立ち寄りカフェゆかい家への支援 ・福祉委員研修会への支援
矢倉	79回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあい喫茶憩への支援 ・なかよし広場+にこにこレストランへの支援
大路	24回	・学区社協事業への支援
渋川	58回	・医療福祉を考える会議への支援
老上	114回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援
老上西	29回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援
玉川	87回	・医療福祉を考える会議への支援
南笠東	68回	・地域支え合い運送支援事業への支援 ・健幸プロジェクトへの支援
山田	77回	・医療福祉を考える会議への支援 ・福祉委員研修会への支援
笠縫	119回	・医療福祉を考える会議への支援 ・学区地域サロン交流会 ・ふれ愛おでかけ訓練への支援
笠縫東	53回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいサロン（もちつき大会）への支援
常盤	77回	・医療福祉を考える会議への支援
計	984回	

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）

（２） ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広めていくため、多種多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

（２－１） 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり 重点

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるよう、ボランティアの魅力発信や、子どもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

●収集ボランティア啓発

3,278 円

コロナ禍でも身近にできるボランティア活動として、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集の啓発に努めました。

【収集実績】

収集物	令和6年度	令和5年度
使用済み切手	97件	110件
使用済みカード	1件 7枚	1件 18枚
書き損じはがき	1件 32枚	1件 18枚
ペットボトル キャップ	382件 2591.22kg	405件 2773.67kg
プルトップ	175件 252.56g	179件 373.66kg

【協力団体（延べ数）】

幼・保育園・こども園	10件	学校	小5、中6、高5
まちづくりセンター	62件	まちづくり協議会	4件
企業	63件	ボランティア団体	10件
地域サロン	12件	市役所	16件
民児協	12件	学区・区社協	3件
個人	227件	その他	32件
会館	6件		

●若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

61,566 円

「1日だけのボランティア活動」というテーマでボランティアマルシェのイベント運営ボランティアに参加していただき、まずは、「ボランティアを楽しい」と感じてもらい、草津市ボランティアセンターの存在とボランティアを始める第一歩が踏み出しやすいように呼びかけをしました。

25名の高校生・大学生が集まり、事前にブース企画や準備等を行うボラ活 enjoy 会や当日の着ぐるみやバルーン、企画ブースなど運営の様々なボランティアをしていただきました。また、イベント後には学生の交流会を実施し、他校の学生同士で交流し、ボランティアに関する意見交換等を通じてボランティア意識の向上を図る機会を提供することができました。

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・災害ボランティアセンター
- ・共同募金活動助成
- ・ボランティア活動支援事業
- ・福祉教育の推進

(2-2) 新たなボランティア発掘の仕組みづくり 重点

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広めます。

●草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援助成金 20,000円

草津市福祉教養大学院生・卒業生が立ち上げるボランティアグループに草津市福祉教養大学で学んだ成果を発揮する場を増やし、継続的に活動していただけるようにすることを目的として教養大学院卒業生が立ち上げたボランティアグループ2団体に助成を行いました。助成金を活用し、ボランティアグループの活動基盤の整備、自主的な活動を広げるための支援につながりました。

【助成対象団体】

- ボランティアグループふくちゃん ○VG. フリーダム

●ボランティアマルシェ 406,191円

市社協の魅力の発信や新たなボランティア活動の発見づくり、ボランティアの活動の場を拡大することを目的として、ボランティアマルシェを実施しました。コロナ禍で減少していたボランティア活躍の場となり、キラリエに立ち寄ったことのない方にもキラリエや市社協を知っていただく機会となりました。

開催日	令和6年7月6日(土) (キラリエ草津 4階)
参加者数	約300人
内容	①ボランティアの世界 バルーンアート(VG.フリーダム)、缶バッジづくり ②障害福祉の世界 点字体験(草津点字グループあゆみ会)、 手話体験(手話サークルつばさ) ③思い出の世界 マジック(草津迷術会)、福祉クイズつき魚釣りゲーム、 七夕飾りづくり、パン販売(わかたけ作業所)等 ④草津市社協の世界 赤十字活動、心配ごと相談、ボランティアセンター、 チューリップ事業等

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト/出前ボランティア一覧 作成 189,694円

ボランティアグループ・地域サロン間での情報共有や活動の活性化、ボランティアの仲間づくりに活用していただくツールとして、ボランティアグループ・地域サロン活動リストを作成しました。

地域からの出前希望に対応できるボランティアグループの紹介とボランティア活動の場の提供、活動の促進を目的として、出前ボランティア一覧を作成しました。

	ボランティアグループ・ 地域サロン活動リスト	出前ボランティア一覧
作成部数	150部	310部
配布先	草津市コミュニティ事業団、 地域まちづくりセンター 学区社協、学区民児協、市役所、 地域包括支援センター、 図書館、隣保館、市内福祉施設等	草津市コミュニティ事業団、 地域まちづくりセンター、 地域サロン、学区社協、学区民児協、 幼稚園・保育園・こども園、 小・中学校、市内福祉施設、 図書館、隣保館等

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・収集ボランティア啓発
- ・福祉教育の推進
- ・災害ボランティアセンター

(2-3) 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえる仕組みづくりを進めます。

●独居高齢者電話訪問

114,156円

65歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで、孤立や孤独に陥らないように、民生委員・児童委員と連携して支援しました。

○利用者：13人 ○傾聴ボランティア：13人

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
電話訪問 回数	153回	185回	279回	270回	227回	191回

●災害ボランティアセンター

156,000円

災害時に設置する災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう運営訓練を実施しました。訓練検討委員会を3回、運営協議会を1回開催し、会議の中で各班の業務内容等の確認、シミュレーションを行い、運営方法を検討しました。参加募集人数を昨年の倍である100人とし災害ボランティアセンター運営協議会構成団体を中心に、地域で防災に関わる方にも参加を呼びかけました。さらに、職員でもシミュレーションをすることで運営時の体制を確認しました。

また、草津市、草津青年会議所および市社協の三者で「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」を締結していることから、日頃からの協力体制を高めていくために、三者で協力し、災害ボランティアセンターについての研修会を開催しました。

【運営訓練検討委員会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和6年 9月24日(火)	・サイボウズ社キントーンの活用事例について ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について	12人
第2回	10月17日(木)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練のシミュレーション	12人
第3回	11月13日(水)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練のシミュレーション	10人

【運営協議会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和6年 12月3日(火)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について	17人

【災害ボランティアセンター研修会】

開催日	内容	参加者
令和6年 12月17日(火)	・「能登半島地震における草津市の支援内容と避難所運営」(草津市危機管理課) ・「能登半島地震災害ボランティアセンター運営支援を通して」(草津市社会福祉協議会) ・「青年会議所としての災害時の取組内容について」(草津青年会議所)	85人

【災害ボランティアセンター運営訓練】

開催日	参加者
令和7年 1月25日(土)	運営協力ボランティア、SeRV 滋賀、滋賀県共同募金会、町内防災委員、学区まちづくり協議会、学区社会福祉協議会、学区民生委員児童委員協議会、草津市赤十字奉仕団、青年会議所、老人クラブ連合会、草津 Y クラブ、草津市ボランティアコーディネーター会、草津市更生保護女性会、草津市ボランティア連絡協議会、草津市コミュニティ事業団、草津市役所、滋賀県社会福祉協議会、草津市社会福祉協議会他76人

<関連する事業>

- ・草津フードバンクセンター設置
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティア活動支援
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティアグループ活動助成
- ・収集ボランティア

基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

(1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

●市ボランティア連絡協議会活動助成

48,000円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 39グループ（会員数722人）

○役員会・総会・交流会等の支援

総会や代表者会議、交流会に向け準備し、出席しました。

本会ホームページに市ボランティア連絡協議会ページを作成し、機関誌等の掲載を行いました。

開催日	会議の種類	内容	参加者
令和6年 4月24日（水）	代表者 会議	・令和6年事業計画（案）について ・令和5年度会計予算（案）について ・令和5年度会計決算報告について ・令和6年度登録団体 ・活動経過報告、今後の予定	21人
5月22日（水）	第38回 総会	・令和5年度事業報告および会計報告 ・令和6年度事業計画（案）および会計 予算（案） ・役員紹介 ・各委員への輩出	24団体 15団体 委任状
8月21日（水）	代表者 会議	・経過報告、今後の予定 ・市社協会長表彰推薦団体について ・交流会について	21人
9月25日（水）	会員 交流会	5団体発表	約40人
令和7年 1月22日（水）	新年会員 交流会	・健康講座 日常の健康管理 ・お互いを知ろう 会員交流	16人
3月26日（水）	代表者 会議	・令和7年度活動計画について ・令和6年度活動報告・会計決算について ・令和7年度代表者会議について	21人

●ボランティア保険加入促進

485,000 円

ボランティア活動が安心して行えるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

保 険 種 類	令和 6 年度	令和 5 年度
ボランティア活動保険 基本プラン	3,223 人	3,436 人
天災プラン	439 人	353 人
特定感染症重点プラン	—	26 人
連協加入	485 人	573 人
ボランティア行事用保険	297 件	280 件
送迎サービス保険	2 件	2 件
福祉サービス総合保障	21 件	18 件

●福祉車両貸出

744,416 円

家庭の事情や身体状況などにより、病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことにより、登録いただいている運転ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
運転ボランティア数	12 人	13 人	11 人
登録者数 (貸出利用含む)	43 人	24 人	21 人
送迎対応件数	334 回	327 回	221 回

●社会福祉法人との連携

57,922 円

草津市内の社会福祉法人同士の連携・協働について話し合いを行いました。業務の困りごとや人材育成、発掘の悩み等を共有し、連携する取組や地域の活動に参加・協力する中で、専門職のやりがいを実感できるような仕組みづくりを共にできないか、協力いただくコアメンバーから意見をいただき、検討を進めました。

開催日	内容	参加者
令和 6 年 9 月 12 日 (木)	市内福祉事業所の連携・協働推進会議にかかる 検討会議 ・連携・協働推進会議における提案 ・意見交換 市社協の企画案および、各参加者がこの連携 会議を通じて“やってみたいこと”について	8 法人 (市社協より 3 人) (欠席 2 法人)

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）

(2) 分野を超えたつながりづくり **重点**

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などつながり、連携を図ること
とで、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

●善意銀行の活用と運用、寄付金の募集

寄付金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し、一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄付する「寄付付き名刺」を発行しました。

社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄付金・物品は、善意銀行事業として社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。また、ボランティア基金に寄せられた寄付は、ボランティアセンター運営にかかる事業実施に活用しました。

さらに、いただいた寄付金を広報紙・ホームページに掲載し、寄付金募集の啓発に努めました。

【寄付金状況】

寄付名	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	寄付金額		寄付金額		寄付金額		寄付金額	
市社協が行う各地域福祉事業	44件	916,635円	46件	1,632,084円	41件	586,167円	47件	1,157,880円
ボランティア基金事業	4件	94,950円	3件	1,200円	3件	3,044円	8件	62,923円
善意銀行	5件	50,176円	6件	416,454円	7件	612,000円	6件	165,991円
計	53件	1,061,761円	55件	2,049,738円	51件	1,201,211円	61件	1,386,794円

<関連する事業>

- ・社会福祉法人との連携
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・ボランティアセンター運営と機能強化

Ⅱ. 市社協が取り組む福祉の基盤づくり

～地域福祉活動発展計画～

基本目標 地域で安心して暮らしてつづけることができる体制づくり

(1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

(1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 **重点**

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等）

458,778 円

学区社協会長同士の情報交換や、福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。

その他、学区社協便覧の作成や、医療福祉を考える会議の進捗状況などをテーマとして意見交換の場を持ち、会長同士が積極的に情報交換できるよう努めました。

また、9月度と2月度は学区社協事務局長等会議と合同で実施し、会長だけでなく、会長を支える事務局長にも今後活用いただけるような情報等を知っていただき、学区社会福祉協議会活動がより充実したものとなるよう支援しました。

○学区社協会長会

開催日	主な協議内容
令和6年 4月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度草津市健康福祉部・子ども未来部の職員紹介 ・令和6年度草津市社協事務局の職員紹介 ・他機関委員会の委嘱について ・福祉委員の委嘱について ・「移動フードドライブ事業」に関するアンケートについて ・民間助成事業の案内について ・地域福祉活動推進事業補助金について ・令和6年度版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・「2024年台湾東部沖地震救援金」の受付について
5月20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 草津市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業助成金について ・草津市社会福祉協議会子どもの居場所サポート事業について ・令和6年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・令和6年度社会福祉協議会一般会費・賛助会費の御協力について ・令和6年度滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費の分担金について ・草津市社協「移動フードドライブ事業」について

	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会について ・「第74回社会を明るくする運動」の街頭啓発（予定）について ・「ボランティアマルシェ」について ・「チューリップ事業」にかかる生理用品個包装の設置について
6月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会の開催について ・令和6年度赤い羽根共同募金運動について ・令和6年度地域サロン活動支援事業費補助金の交付について ・「第74回社会を明るくする運動」街頭啓発活動の実施について ・「ボランティアマルシェ」について ・令和6年度第7回草津市福祉教養大学の案内について
7月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 演題：「滋賀県初！？ありそうでなかったデイサービスで暮らしを豊かに！～買い物んデイが目指す「健幸都市くさつ」への新たな第一歩～」 講師：買い物んデイ ミナクサ 松永将孝さん （株式会社エーダンライフ 代表取締役） 買い物んデイ 上笠 井本弓子さん （株式会社ユニパ 機能訓練指導員（看護師）） ・地域懇談会の日程について ・敬老会について ・令和6年度便覧について ・民間助成事業の案内について ・地域福祉活動推進事業助成金の申請状況について ・令和6年度市社協一般会費・賛助会費の募集予定・募集期間について ・令和6年度第7回草津市福祉教養大学について
8月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度共同募金運動について ・一般会費納入依頼について ・令和6年度賛助会費募集日程について ・フードバンクセンター事業について ・令和6年度草津市社会福祉協議会講演会（役員等研修）について ・民間助成事業の案内について ・地域福祉活動推進事業助成金の申請状況について ・「きょうされん第47回全国大会 in しが」ボランティア募集について
9月20日（金） （学区社協事務局長等 会議との合同会議）	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動について ・令和6年度地域懇談会について ・令和6年度草津市社会福祉功労者表彰式の開催について ・令和6年度草津市青少年育成大会の参加について ・民間助成事業の案内について ・意見交換（各学区の取組について） ・「子どもの居場所サポート事業」の申請状況について
10月21日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生紹介 ・令和6年度 全社協会長表彰の決定について ・令和6年度「運転ボランティアのための安全運転講習会」について ・民間助成事業の案内について ・草津市14学区社協会長に聞きたいこと・知りたいこと（実習生より） ・赤い羽根共同募金について

	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい子ども支援事業助成について ・草津市社会福祉協議会理事会・評議員会の日程について ・「令和6年度 みんなで考える権利擁護セミナー」について
11月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市災害ボランティアセンターについて ・令和6年度歳末たすけあい募金運動 街頭募金の実施状況について ・第7回草津市福祉教養大学について ・意見交換(各学区の医療福祉を考える会議の取組状況について) ・更生保護フォーラムについて ・令和6年度 草津市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業助成金について
令和7年 1月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度赤い羽根共同募金の実績報告について ・一般会費・賛助会費の報告とお礼について ・「地域の福祉の担い手研修会」について ・令和6年度 地域福祉活動推進事業助成金の申請結果について ・2月度学区社協会会長・第2回学区社会福祉協議会事務局長等会議 合同会議の開催について ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練について ・「第6回ひきこもり支援を考えるフォーラム」について ・第7回草津市福祉教養大学第5講座について ・字幕付き映画「お終活 再春！」上映会への協力について
2月20日(木) (学区社協事務局長等 会議との合同会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区社協関係補助金について ・令和7年度版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・令和6年度地域サロン事業報告書および令和7年度地域サロン事業計画書の提出について ・令和7年度学区社協会会長の日程について ・各学区社協の総会について ・各学区の高齢者支援活動について ・「令和6年度草津市社会福祉協議会チューリップ事業(つながりサポート事業)研修会」について ・令和7年度ボランティア活動保険加入について

●地域福祉活動推進の支援強化

232,785円

市社協が草津市地域福祉活動計画に基づき、より良い事業展開をしていくため、地域における福祉活動の取組状況の把握と、計画の進捗管理を行い、地域福祉活動の更なる発展を支援しました。

【会議開催一覧】

開催日	会議名	内容
令和6年 8月5日(月)	第1回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度草津市社会福祉協議会の事業報告について ・令和6年度草津市社会福祉協議会の事業進捗について
令和7年 1月21日(火)	第2回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次草津市地域福祉活動計画の中間報告について

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業(地域支え合い推進員による学区支援)
- ・地域福祉活動助成

(1-2) 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

【専門部会・委員会・連絡会活動の支援】

部会・委員会・連絡会名	主な活動内容
地域福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> 「重層的支援体制整備事業と民生委員・児童委員の関わりについて」をテーマに研修会の実施 単位民児協活動の活性化を図るため、交換民児協の結果のフィードバック
高齢者福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターとの交流会の実施 滋賀県福祉用具センターにて見学研修会の実施
障害福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> 第39回草津市いきいきふれあい大運動会への参加・協力 「障害福祉の理解について」「聴覚障害について」をテーマに研修会の実施 滋賀県立草津養護学校の見学とPTAとの懇談会を実施 「ふくふくサロン」への参加・協力
児童福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く社会状況と児童福祉の諸制度について学ぶ研修会の実施 児童福祉関連施設への現地研修の実施
人権・同和部会	<ul style="list-style-type: none"> 「草津市企業同和教育推進協議会の取組について」をテーマに研修会の実施 社会福祉法人京都ライトハウス、立命館大学国際平和ミュージアムにて見学研修会の実施
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> 事例集「光もとめて」、広報紙「こぼと」の発行 より良い広報・啓発を行うため研修会の実施 市社協ホームページ内の民児協のページをリニューアル 市役所にて民児協活動についてのパネル展示
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> 総会研修の実施 5グループに分けた全員研修の実施
主任児童委員連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診（10か月健診）の見守り 小中学校との懇談会の実施 講師を招いた研修会の実施

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活つなぎ資金 ・生活福祉資金

(1-3) ボランティアセンターの機能強化 **重点**

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

● ボランティアセンター運営

138,147 円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの援助相談に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアのコーディネートを行いました。

【登録ボランティアの推移】

年度	ボランティアグループ		個人 ボラン ティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
令和6年度	348団体	6,193人	53人	6,246人
令和5年度	346団体	6,070人	67人	6,137人
令和4年度	376団体	5,776人	65人	5,841人

【ボランティアコーディネート】

内容	件数
ボランティア調整	151
ボランティア相談	27
福祉教育	14
福祉教育貸出備品（V調整含めず）	14
レイカディア大学調整	16
合計	222

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・ボランティア活動支援
- ・収集ボランティア啓発
- ・市社協ボランティア育成講座
- ・草津市福祉教養大学卒業ボランティアグループ応援助成金
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・災害ボランティアセンター
- ・ボランティア連絡協議会加入促進

(1-4) 企業等との連携・ネットワークの構築

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

●市社協会費

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	31,745世帯	31,728世帯	31,939世帯	30,962世帯	31,629世帯
会員	4,761,800円	4,759,200円	4,790,900円	4,639,800円	4,744,450円
賛助	452社	465社	456社	460社	573.6口
会員	2,820,000円	2,875,000円	2,875,000円	2,878,000円	2,868,000円
計	7,581,800円	7,634,200円	7,665,900円	7,517,800円	7,612,450円

※令和3年度から、賛助会員数で記載

<関連する事業>

- ・まごころ便
- ・社会法人との連携
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）

(2) 個別援助活動の充実

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

(2-1) 包括的な相談体制の構築 **重点**

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

●生活つなぎ資金貸付

1,848,685円

民生委員・児童委員や人とくらしのサポートセンター、市関係各課と連携し、一時的に生活困難な状態に陥った世帯が再び安定した生活に戻れるまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

【貸付相談件数】

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付相談件数	77件	46件	63件	37件	28件

【貸付状況】

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付件数	45件	32件	51件	32件	25件
貸付額	1,802,000円	1,460,000円	2,220,000円	1,300,000円	1,125,000円

●生活福祉資金貸付

23,103,495円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。一昨年度貸付が終了し償還が開始している新型コロナウイルス特例貸付については、債権管理及びフォローアップとして相談員を設置し、継続して相談支援を行いました。相談者一人ひとりにきめ細やかな対応を行うとともに、市に設置されている人とくらしのサポートセンターとも連携しながら、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】（単位：件）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付相談件数	464	973	321	865	1,401

【貸付件数】（単位：件）

	新型コロナウイルス 特例貸付			総合 支援 資金	福祉資金		教育 支援 資金	不動 産担 保型 生活 資金	臨時 特例 つな ぎ資 金	生活 復興 支援 資金	合計
	緊急 小口 資金	総合 支援 資金	延長、 再貸付 申請等		緊急 小口 資金	福祉費					
令和 6年度	0	0	0	0	5	8	33	0	0	0	46
令和 5年度	0	0	0	0	8	6	11	0	0	0	25
令和 4年度	140	136	0	0	16	8	21	0	0	0	321
令和 3年度	662	681	1,048	0	7	8	16	0	0	0	2,422
令和 2年度	1,087	871	795	0	9	7	15	0	0	0	2,769

【特例貸付相談状況】

相談対応件数（対応形態）				相談対応 合計件数
訪問	来所	電話	その他	
0件	130件	517件	78件	725件
内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数
0件	59件	103件	17件	179件
相談対応結果				
申請手続き 支援	他機関・サービ スへのつなぎ	社協継続支援	その他	特に対応なし
111件	20件	475件	106件	13件
内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数	内 外国人対応件数
29件	1件	119件	28件	1件

●心配ごと相談所開設

1,535,242円

市民に身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応するとともに、広報紙により相談所の周知に努めました。

- 開設日時 … 月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時
- 弁護士相談… 原則第1・第3水曜日に実施
- 相談員 … 「介護保険制度と施設の概要」について研修会を実施
 - ・年に2回、つながりサポート事業に係る関係機関連絡会に参加
 - ・年に6回、相談員連絡会を開催し、相談員同士の情報交換を実施

【相談内容の内訳件数】

内容	令和 6年度	令和 5年度	内容	令和 6年度	令和 5年度	内容	令和 6年度	令和 5年度
離婚	6	13	生計	7	6	精神保健	45	6
家族	52	54	財産	20	35	苦情	6	1
人権・ 法律	11	4	住宅	7	18	職業・ 生業	32	26
事故	2	6	消費者問題	3	4	医療	2	1
結婚	0	0	環境	2	14	高齢者 福祉	11	3
年金	0	0	児童福祉	0	0	教育・ 青少年	0	0
心身障害児者 福祉	1	0	母子父子 福祉	0	0	その他	93	144

合計	令和 6年度	300	令和 5年度	335
----	-----------	-----	-----------	-----

●歳末たすけあい見舞金の配付

2,436,675円

市内の経済的事情により生活に困っておられる世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。また、福祉施設や団体等へ見舞金を配布しました。

見舞金の配布先など	対象数
市内の準要保護世帯	179世帯

福祉施設、団体等	73施設
歳末たすけあい子ども支援事業助成	2学区
その他、一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援	市社協緊急食糧支援として 15件 チューリップ事業を通して 5件 草津市（人とくらしのサポートセンター） を通して 4件

<関連する事業>

- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

（2-2） 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしします。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

4,939,139円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。利用者に寄り添った、確実できめ細かな支援を継続できるよう支援を行いました。

また、滋賀県社会福祉協議会が主催する、地域福祉権利擁護事業生活支援員、新任職員研修会に参加しました。

【相談件数】

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高齢者	586件 (340件)	618件 (332件)	427件 (146件)	373件 (171件)	334件 (157件)
知的障害者	1,325件 (197件)	1,121件 (175件)	1,334件 (182件)	687件 (160件)	722件 (102件)
精神障害者	1,727件 (1,194件)	1,570件 (805件)	1,731件 (961件)	1,557件 (930件)	1,152件 (761件)
身体障害者他	20件 (3件)	87件 (0件)	48件 (0件)	28件 (0件)	74件 (9件)
計	3,658件 (1,734件)	3,396件 (1,312件)	3,540件 (1,289件)	2,645件 (1,261件)	2,282件 (1,029件)

※（ ）は生活保護受給者からの相談件数

【契約人数の推移】

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高齢者	4人	6人	4人	6人	7人
知的障害者	25人	24人	25人	23人	21人
精神障害者	15人	16人	18人	17人	16人
身体障害者	0人	0人	1人	1人	1人
合計	44人	46人	48人	47人	45人

【契約人数の状況】

	令和5年度 契約人数 (A)	令和6年度 解約人数 (B)	令和6年度 新規契約人数 (C)	3月末現在契約人数 (うち生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	6人	2人	0人	4人(2人)
知的障害者	24人	5人	6人	25人(4人)
精神障害者	16人	2人	1人	15人(10人)
身体障害者	0人	0人	0人	0人(0人)
合計	46人	9人	7人	44人(16人)

【支援回数】

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
支援回数	923回	895回	837回	922回	1,058回
内生活保護受給者支援回数	420回	372回	365回	374回	325回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員：5人（令和7年1月～4人）
- ・生活支援員：25人（男性：8人 女性：17人）

○地域福祉権利擁護事業 新規相談等の受付経路

- ・地域包括支援センターからの相談 13件
- ・市立障害者福祉センターからの相談 7件
- ・ケアマネジャーからの相談 2件
- ・障害者相談支援事業所 5件
- ・その他支援機関からの相談件数 5件

【支援専門員・生活支援員 研修会】

開催日	内容	参加人数
令和6年 6月20日（木）	【県社協新任研修会】 ・地域福祉権利擁護事業における権利擁護の視点と相談の基礎を学ぶ ・知的障害者の理解と支援について	専門員：1人 支援員：4人
令和6年 6月27日（木）	【県社協新任研修会】 ・認知症の人の理解と支援について ・精神障害者の理解と支援について	専門員：0人 支援員：4人
令和6年 11月19日（火）	【権利擁護セミナー】 ・意思決定支援について	専門員：2人
令和6年	【県社協新任職員フォローアップ研修会】	専門員：2人

11月22日（金）	・意思決定支援と関係機関との連携 ・事例検討グループワーク	支援員：2人
令和7年 3月18日（火）	【市社協研修会】 ・権利擁護支援について 講師：NPO 法人成年後見センターもだま	専門員：4人 支援員：4人
令和7年 3月26日（水）	【市社協研修会】 ・コンプライアンスについて ・専門員と生活支援員との交流会	専門員：4人 支援員：8人

●適正実施の確保に向けた取組

令和4年度における地域福祉権利擁護事業の不適切事案を踏まえ、専門員や支援員等が事業を適正に遂行するための資質や能力を備える取組を推進するにあたり、取組の方針や内容等について客観的かつ専門的な立場から意見を求めるために、懇話会を年2回実施しました。弁護士や行政等の委員から意見を聴き、取組方針の策定に反映しました。

開催日	内容
令和6年 10月7日（月）	(1) 適正な事業実施のための取組について (2) 次年度以降の協議のしかたについて
令和7年 2月25日（火）	(1) 適正な事業実施のための取組状況について (2) 令和5年度から令和6年度における取組成果について (2) 次年度以降の取組方針について

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・近所力アップ講座
- ・市社協ホームページ運営
- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行

(3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

(3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 **重点**

「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へPRすることで、地域福祉活動を応援いただける賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。

クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。

市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

● 「社協くさつ」 「ホームページ」 有料広告

85,000 円

市社協広報紙「社協くさつ」、ホームページにて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

【社協くさつおよびホームページ 広告掲載企業】

9月1日号	木川営農組合、(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
11月1日号	木川営農組合、(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
3月1日号	木川営農組合、(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
ホームページ	特定非営利活動法人アイ・コラボレーション 株式会社藤田

● 「ふくちゃん」 啓発

ボランティアマルシェをはじめ、イベントにふくちゃんを派遣し、市社協のPRや草津市内の地域福祉活動について啓発を行いました。

No.	開催日	内容	依頼団体
1	令和6年 7月6日(土)	ボランティアマルシェ	※市社協事業で使用
2	10月13日(日)	やまだ秋まつり	山田学区社会福祉協議会
3	10月14日(月)	大路区民まつり	大路区まちづくり協議会
4	12月19日(木)	キラリエクリスマス	※市社協事業で使用

●共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	6,647,708円
歳末たすけあい募金	4,768,444円
計	11,416,152円

●赤十字事業の推進(日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)

日本赤十字社の活動資金募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、「社協くさつ」にて赤十字活動についての記事を掲載し、周知・啓発を呼びかけました。

義援金・救援金名	義援金・救援金額
ウクライナ人道危機救援金	90,985円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	24円
令和6年能登半島地震災害義援金	910,048円
台湾東部沖地震救援金	47,309円
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	12,112円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	176,375円
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	2,610円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	31,789円
合計	1,271,252円

(令和7年3月31日現在 累計額)

<関連する事業>

- ・市社協会員の拡大
- ・ボランティア基金の運用、寄付金の募集
- ・善意銀行事業
- ・寄付付き名刺の販売

(3-2) 事務局体制の強化

役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。

全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。

事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。

「草津市社会福祉協議会職員行動規則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

●社会福祉援助技術現場実習

社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供しました。

○受入期間：令和6年10月1日（火）～11月5日（火）

○受入人数：2人（龍谷大学）

●第三者委員会の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員会を開催しました。

開催日	内容	出席委員
令和7年 3月27日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい見舞金に関する事案について ・振込通知書の誤送付に関する事案について ・地域福祉権利擁護事業の適正実施に向けた取組状況について 	奥井晴喜 西川裕子 清水清之

●役員会の開催ならびに研修会の開催

613,637円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任解任委員会を適宜開催するとともに、研修会の実施や参加、他機関の会議等への積極的な参加協力を行い、役員体制の強化を図りました。

【正副会長会】

開催日	議案
第1回 令和6年 5月29日（水）	※第2回理事会の提出議案について <ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選定について ・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度決算の承認について ・令和6年度第1次補正資金収支予算（案）の同意について ・補充理事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和6年度定時評議員会の招集について

		<ul style="list-style-type: none"> ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	9月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度草津市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について
第3回	11月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ※第3回理事会の提出議案について ・令和6年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和6年度第3回評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	令和7年 2月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ※第4回理事会の提出議案について ・令和6年度第3次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和7年度事業計画(案)の同意について ・令和7年度資金収支予算(案)の同意について ・令和7年度資金運用計画(案)の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和6年度第4回評議員会の招集について ・役員等賠償責任保険契約の締結について

【理事会、評議員会、評議員選任解任委員会】
(理事会)

	開催日	議案
第1回	令和6年 5月1日(水) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する理事候補者の選任について ・令和6年度第1回評議員会の招集について
第2回	6月10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選定について ・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度決算の承認について ・令和6年度第1次補正資金収支予算(案)の同意について ・補充理事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和6年度定時評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第3回	11月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和6年度第3回評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	令和7年 3月10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第3次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和7年度事業計画(案)の同意について

		<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度資金収支予算（案）の同意について ・令和7年度資金運用計画（案）の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・令和6年度第4回評議員会の招集について ・役員等賠償責任保険契約の締結について
--	--	--

(評議員会)

	開催日	議案
第1回	令和6年 5月29日(水) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の解任について ・補充理事の選任について
定時	6月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告の承認について ・令和5年度決算の承認について ・令和6年度第1次補正資金収支予算（案）の承認について ・補充理事の選任について
第3回	12月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第2次補正資金収支予算（案）の承認について
第4回	令和7年 3月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第3次補正資金収支予算（案）の承認について ・令和7年度事業計画（案）の承認について ・令和7年度資金収支予算（案）の承認について

(評議員選任・解任委員会)

	開催日	議案
第1回	令和6年 6月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第2回	11月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第3回	令和7年 3月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について

○他機関の会議への参画

- ・草津市市政功労者表彰選考委員会
- ・草津市民生委員推薦会
- ・草津市人権擁護審議会
- ・草津市健康づくり推進協議会
- ・草津市ごみ問題を考える草津市民会議
- ・草津市人権擁護推進協議会
- ・草津市同和教育推進協議会
- ・草津市自殺対策推進会議
- ・草津市福祉有償運送運営協議会
- ・草津市地域包括支援センター運営協議会
- ・草津市障害者施策推進審議会
- ・草津市特定旅館建築規制審議会
- ・草津市あんしんいきいきプラン委員会
- ・草津栗東防犯自治会
- ・草津市青少年育成市民会議
- ・草津市要保護児童地域対策協議会
- ・草津市発達障害者等支援システム推進協議会
- ・草津市平和祈念のつどい実行委員会
- ・草津市地域福祉推進市民委員会
- ・草津市住宅政策審議会
- ・草津市社会福祉法人等審査会委員
- ・日本赤十字社滋賀県支部評議員会
- ・社会福祉法人滋賀県共同募金会評議員会
- ・湖南地域社会福祉連絡協議会
- ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会
- ・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
草津市実行委員会

○役員研修会

開催日	内容	参加者
令和6年 7月19日(金)	<p>■滋賀県市町社会福祉協議会会長会トップセミナー</p> <p>演題：地域共生社会の政策（施策）における権利擁護支援の位置づけと社協の役割～「社協基本要項2025第一次案」を踏まえて～</p> <p>講師：全国社会福祉協議会副会長 古都賢一さん</p>	3人
<p>①10月15日 (火)</p> <p>②11月29日 (金)</p> <p>③2月6日(木)</p>	<p>■第7回草津市福祉教養大学 (下記3講座を役員研修と位置づけ受講を案内)</p> <p>①第3講座 演題：災害を通じた日常的なつながりの大切さ 講師：元神戸新聞社写真記者 金居光由さん</p> <p>②第4講座 演題：「福祉のことはよくわからない」はやめませんか！どうすればよいのでしょうか？ 講師：龍谷大学社会学部現代福祉学科特任教授 山口浩次さん</p> <p>③第5講座 内容：(公財)草津市コミュニティ事業団「ひととまちの未来をつくるカレッジ2024」との合同開催活動のアイデアを見つけよう！</p>	<p>①11人</p> <p>②8人</p> <p>③6人</p>
令和7年 1月16日(木)	<p>■湖南地域社会福祉連絡協議会役員研修会</p> <p>演題：災害ボランティアセンターについて</p> <p>講師：龍谷大学社会学部現代福祉学科特任教授 山口浩次さん</p>	3人

●職員会議、職員研修の開催

市社協の適正運営や事業推進のための情報共有や共通認識を職員間で図るために、毎月定例の職員会議、グループ会議、執行会議を行いました。

また、県社協等が主催する研修に参加し、職員としての資質向上に努めました。